

2014年3月24日

ジェットスター・ジャパン、搭乗者数 400 万人達成

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下ジェットスター・ジャパン)は、2012年7月3日(火)の就航から2014年3月24日(月)までの搭乗者数が400万人を突破したことを発表しました。

一昨年の国内線就航から搭乗者数は順調に増加しており、運航開始から90週目で400万人の達成となりました。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の鈴木みゆきは、次のように述べています。

「お陰さまでジェットスターの国内での認知度も高まり、多くのお客様にご搭乗いただけるようになりました。最近では、弊社を何度もご利用いただいているリピーターのお客様が増えています。今後もより魅力的な運賃やサービスの提供に努めて、お客様にとってより身近な航空会社を目指します。」

現在ジェットスター・ジャパンは、国内10都市、14路線に就航しており、国内LCCとして1日最大72便を運航しています。

以上

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の路線網を誇り、最も急速に成長しているLCCで、オーストラリア、ニュージーランド(カンタスグループの子会社)のジェットスター航空、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の60都市以上に週4,000便以上を運航しています。2013年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,300万人超のお客様にご利用頂きました。

ジェットスター・ジャパン株式会社について

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航したLCCであり、2013年からは名古屋(3月)、大分(3月)、鹿児島(5月)、松山(6月)、高松(12月)にも就航しています。現在、エアバス社A320型新造機18機(180席/機)で14路線、1日最大72便運航しており、今後24機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。